

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜3限	教室名	講義室
担 当 教 員	大西 真	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年生後期で学んだ病態生理学の内容を深めていきます。教科書第3章 循環障害、第5・6章 細胞傷害と修復、第8章 腫瘍、第9章 免疫異常・アレルギー、第10章 先天性疾患について学んでいきます。国家試験科目のため、知識を定着させ、合格の一助としていきます。また、3年生で使える国家試験対策資料や、一覧表を作成し、受験準備も進めていきます。						
《成績評価の方法と基準》						
平常点(提出物や口頭試問、積極的発言など)20%、前期末試験80%の計100点満点で評価します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
病理学概論(医歯薬出版株式会社)、配布資料など						
《授業外における学習方法》						
臨床医学各論・総論における病理学的所見や疾病の特徴を整理し、本講義の内容とあわせて理解していきましょう。授業内で作成した対策プリントやまとめプリントを整理して国家試験に向けて準備を進めていくことをお勧めします。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験の出題傾向などもみていくので、他科目での勉強方法にも応用できるよう、自分なりに考えて受講して下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	循環器障害(充血、うっ血、貧血、虚血、出血分類)を理解し、 各項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	循環器障害 (充血、うっ血、貧血、虚血、出血分類)			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	循環器障害(出血分類と疾患、ショック、血栓症)を理解し、各 項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	循環器障害 (出血分類と疾患、ショック、血栓症)			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	循環器障害(塞栓症、梗塞、水腫)を理解し、各項目について 簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	循環器障害 (塞栓症、梗塞、水腫)			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	循環器障害(脱水症)、退行性病変(萎縮、変性)を理解し、各 項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	循環器障害(脱水症) 細胞傷害と修復/退行性病変(萎縮、変性)			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	退行性病変(ビリルビン代謝と黄疸、生活習慣病、壊死)を理 解し、各項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習	
		各コマに おける 授業予定	細胞傷害と修復/ 退行性病変(ビリルビン代謝と黄疸、生活習慣病、壊死)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	退行性病変(死)、進行性病変(肥大と増殖、再生、化生)を理解し、各項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	細胞傷害と修復/ 退行性病変 (死) 進行性病変 (肥大と増殖、再生、化生)		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	進行性病変(移植、創傷治癒)を理解し、各項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	細胞傷害と修復/ 進行性病変 (移植、創傷治癒)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	進行性病変(異物処理)を理解し、簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	細胞傷害と修復/ 進行性病変 (異物処理)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の形態と構造、腫瘍細胞の特色を理解し、簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	腫瘍の形態と構造 腫瘍細胞の特色		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍細胞の特色、腫瘍の組織学を理解し、簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	腫瘍細胞の特色 腫瘍の組織学		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の組織学、癌の発生と諸段階を理解し、簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	腫瘍の組織学 癌の発生と諸段階		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	癌の生体への影響、腫瘍の発生原因、腫瘍マーカーを理解し、簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	癌の生体への影響 腫瘍の発生原因 腫瘍マーカー		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	免疫異常・アレルギー(アレルギー分類、自己免疫疾患、免疫不全)を理解し、各項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	免疫異常・アレルギー (アレルギー分類、自己免疫疾患、免疫不全)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	先天性異常(代謝異常、奇形)を理解し、各項目について簡潔な説明ができる。	教科書 配布資料	解剖生理学的な関連項目の復習 病理学の教科書から関連項目を探し予習
		各コマにおける授業予定	先天性異常 (代謝異常、奇形)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	全講義の関連問題に対して、教科書や、配布資料、作成した表などを参考に、60%以上の正答ができる。	教科書 配布資料	1～14回の配布資料を確認し、重要項目について予習すること
		各コマにおける授業予定	まとめ 1～14回の総合問題の解答		